10 － 3　九州南部の地震活動 (2006 年 11 月～ 2007 年 4 月)
Seismic Activity in the Southern Kyushu District (November, 2004—April, 2005)

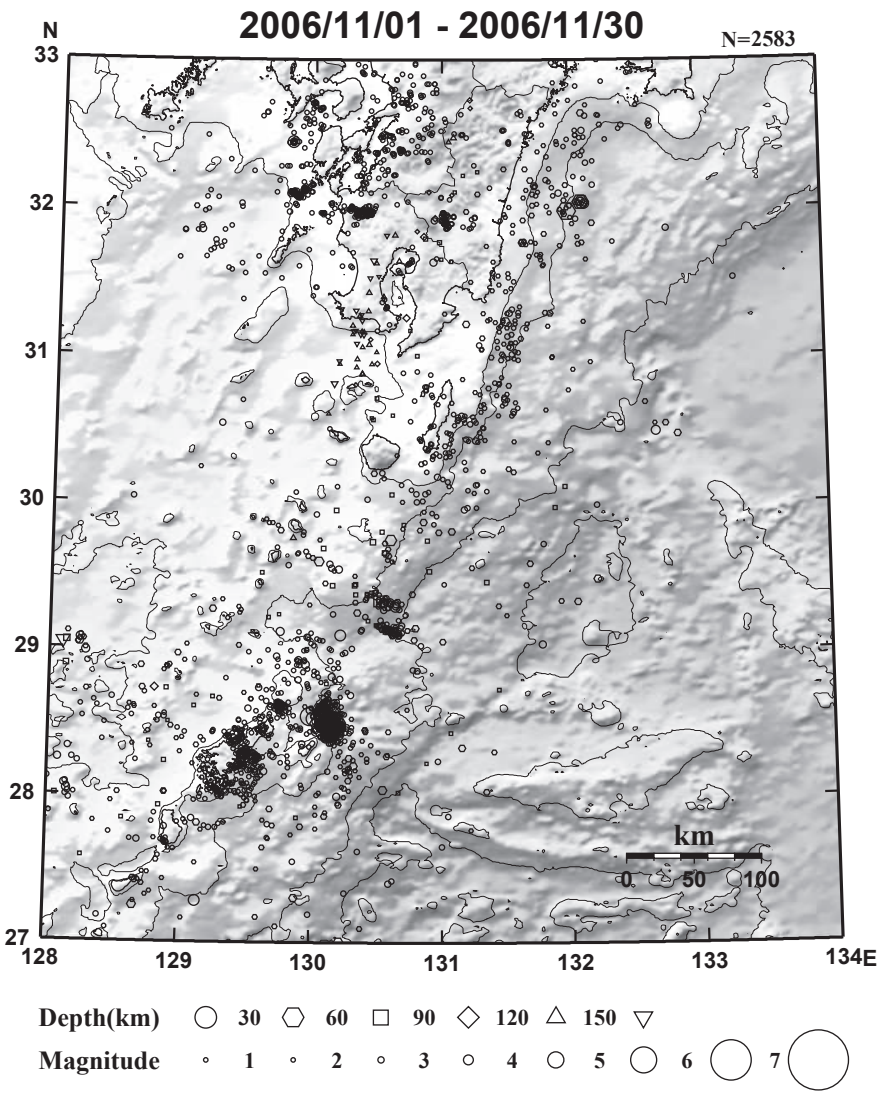
鹿児島大学　理学部
Faculty of Science, Kagoshima University

2006 年 11 月～ 2007 年 4 月の期間に震源決定された地震の 1 ヶ月毎の震央分布を第 1 図～ 6 図に示す．さらに，第 7 図には 2006 年 11 月～ 2007 年 4 月に発生した主な地震のメカニズム解を示す．

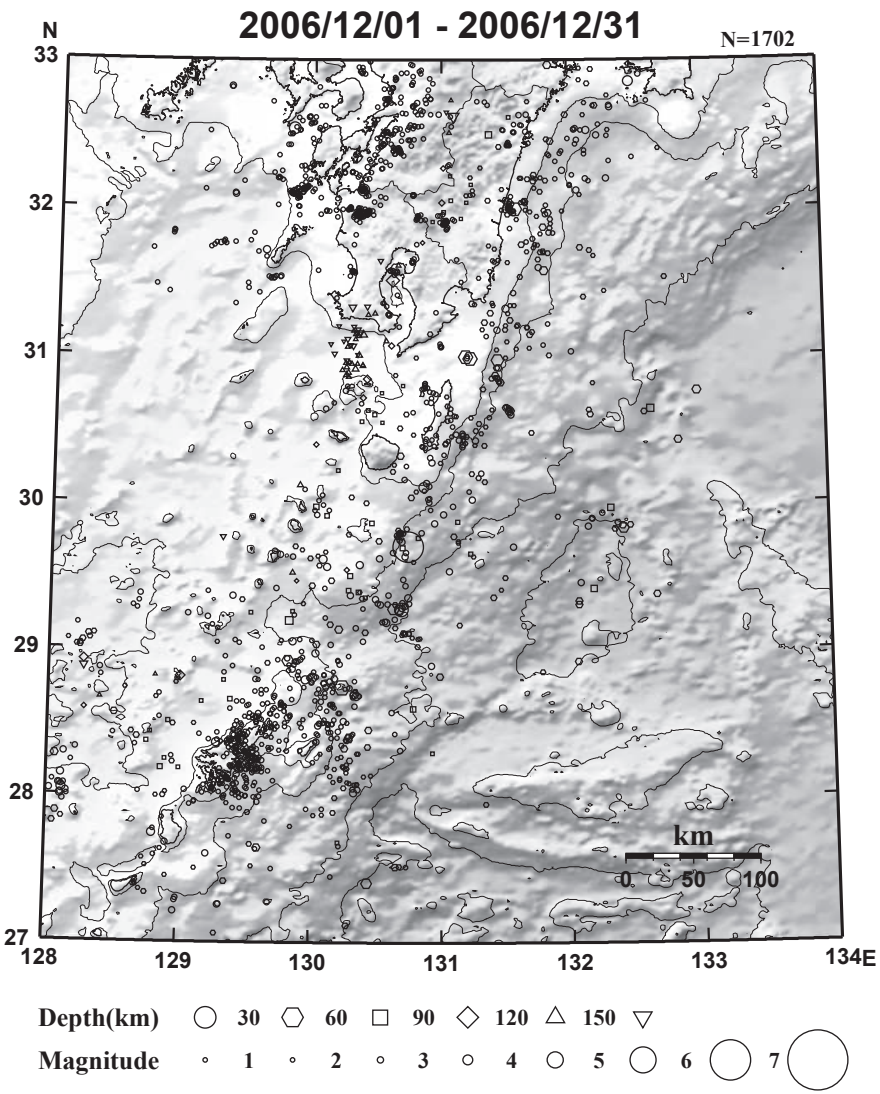
この期間に九州南部で発生した最も顕著な地震は，2006 年 11 月 18 日 03 時 03 分に喜界島の北東海域で発生した M6.2 の地震（第 7 図の B，深さ 30km）である．この領域では，2006 年 11 月 20 日 04 時までに第 7 図の C を含む M3.0 以上の余震が 22 個発生した．余震活動は 2006 年 12 月中旬まで続いた．次に顕著な地震は，2006 年 12 月 11 日 00 時 28 分にトカラ列島東方海域で発生した M5.8 の地震（第 7 図の D，深さ 28km）である．M3.0 以上の余震は発生せず，この余震活動は低調であった．これらの他，種子島，屋久島以南の領域においては，2007 年 4 月 21 日 04 時 37 分の沖永良部島北西海域の M5.5，2007 年 4 月 30 日 05 時 41 分の奄美大島の北方海域の M5.2（第 7 図の H，深さ 30km），2007 年 1 月 16 日 16 時 46 分の奄美大島南東端付近の M4.6（第 7 図の F，深さ 30km）が発生した．また奄美大島付近では期間を通じて微小地震活動が発生したが，2007 年 4 月には発生数がやや減少した．

一方，この期間において南九州の内陸で発生した浅発地震のうち M3.5 以上の地震は，2006 年 12 月 13 日 06 時 44 分に出水市付近で発生した地震（深さ 5km）の 1 個のみであった．この地震，及び 1997 年鹿児島県北西部地震の余震域の活動は継続した以外は，内陸浅発地震活動は静穏であった．

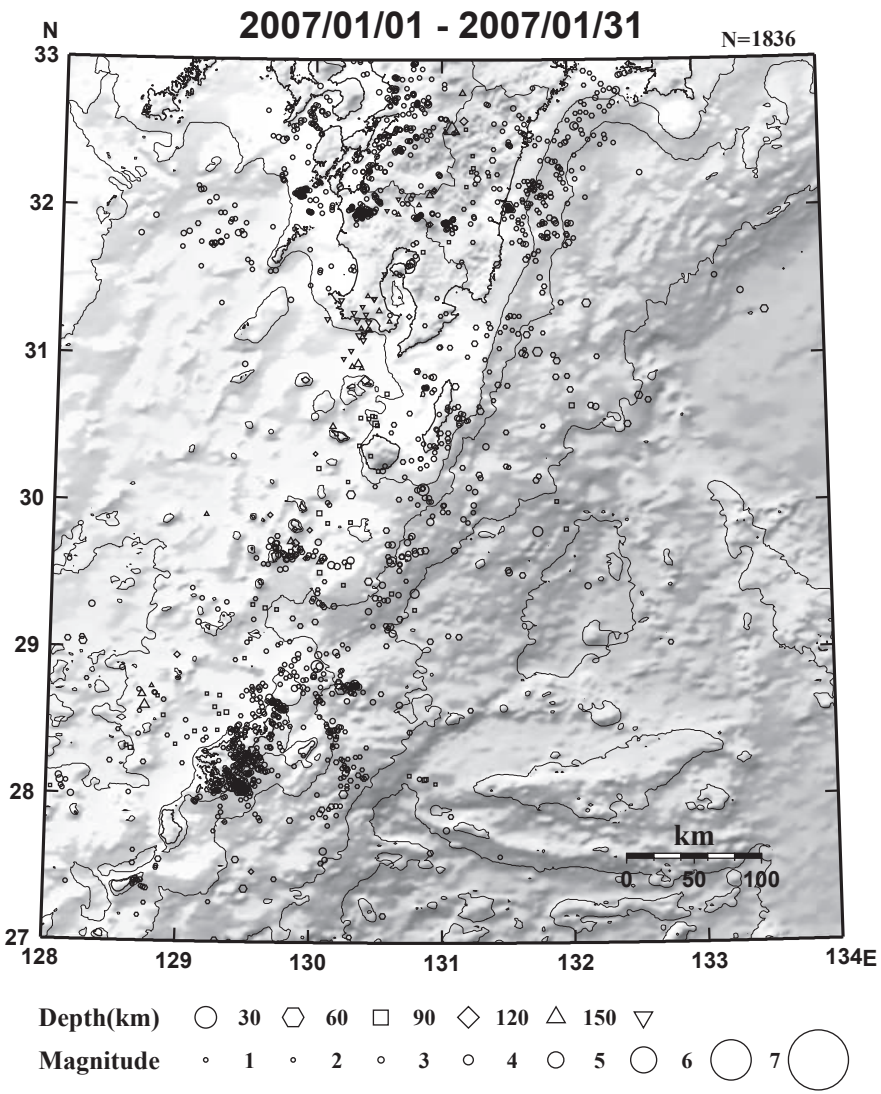
九州南部におけるこの期間の活動は，トカラ列島東方～奄美大島周辺にかけての領域ではやや活発であった．



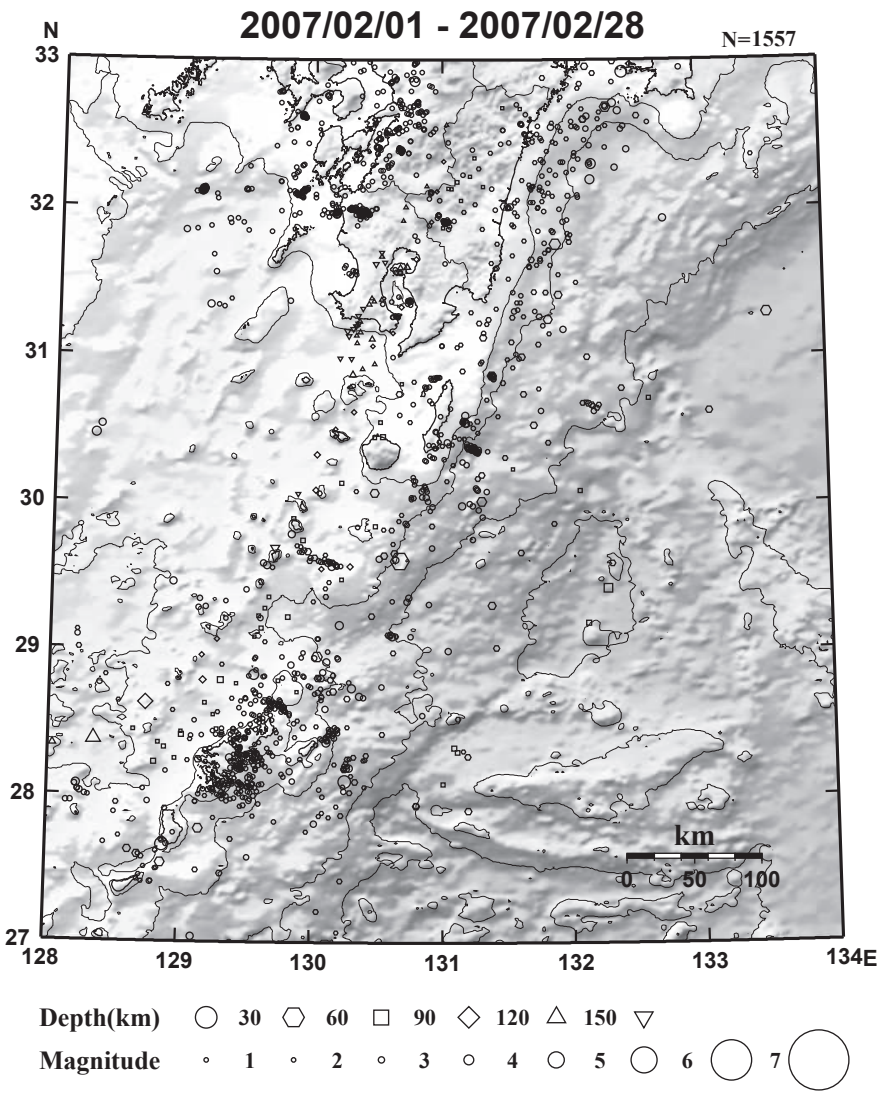
第 1 図　震央分布 (2006 年 11 月)
Fig.1　Epicenter Distribution (November, 2006).



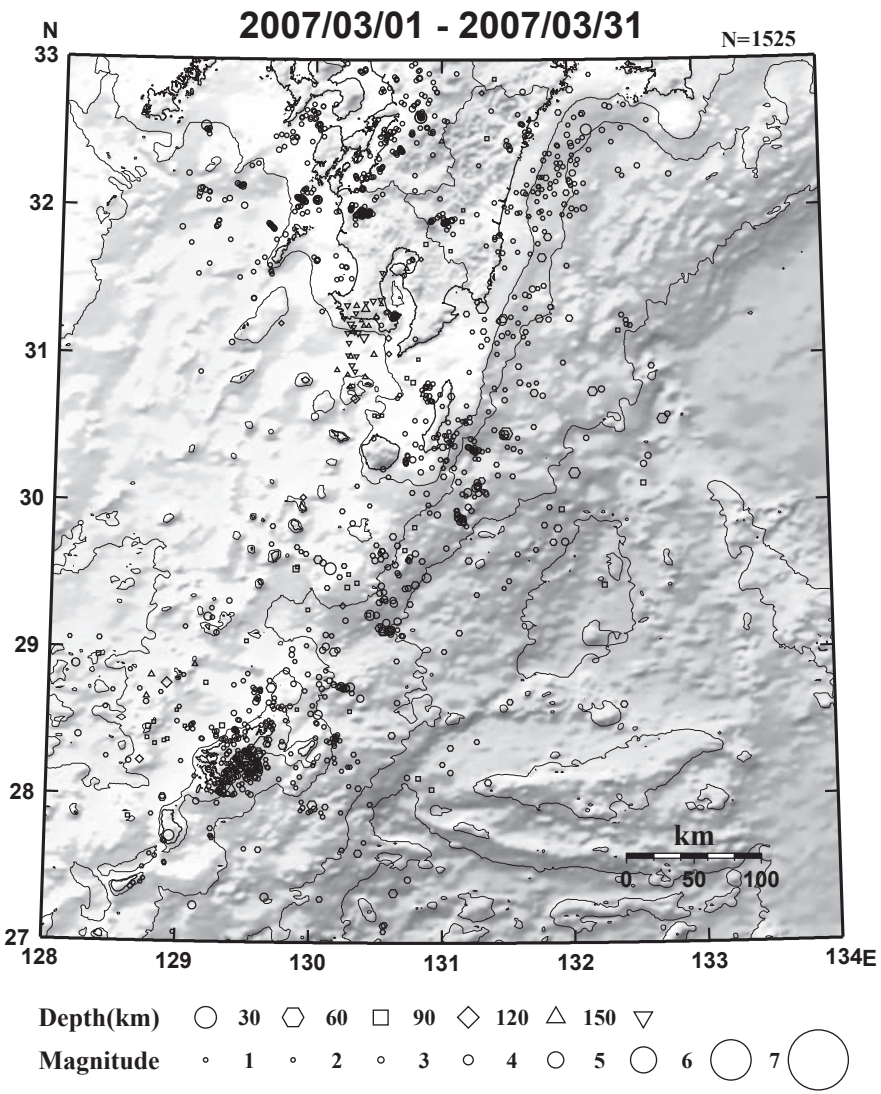
第 2 図　震央分布 (2006 年 12 月)
Fig.2　Epicenter Distribution (December, 2006).



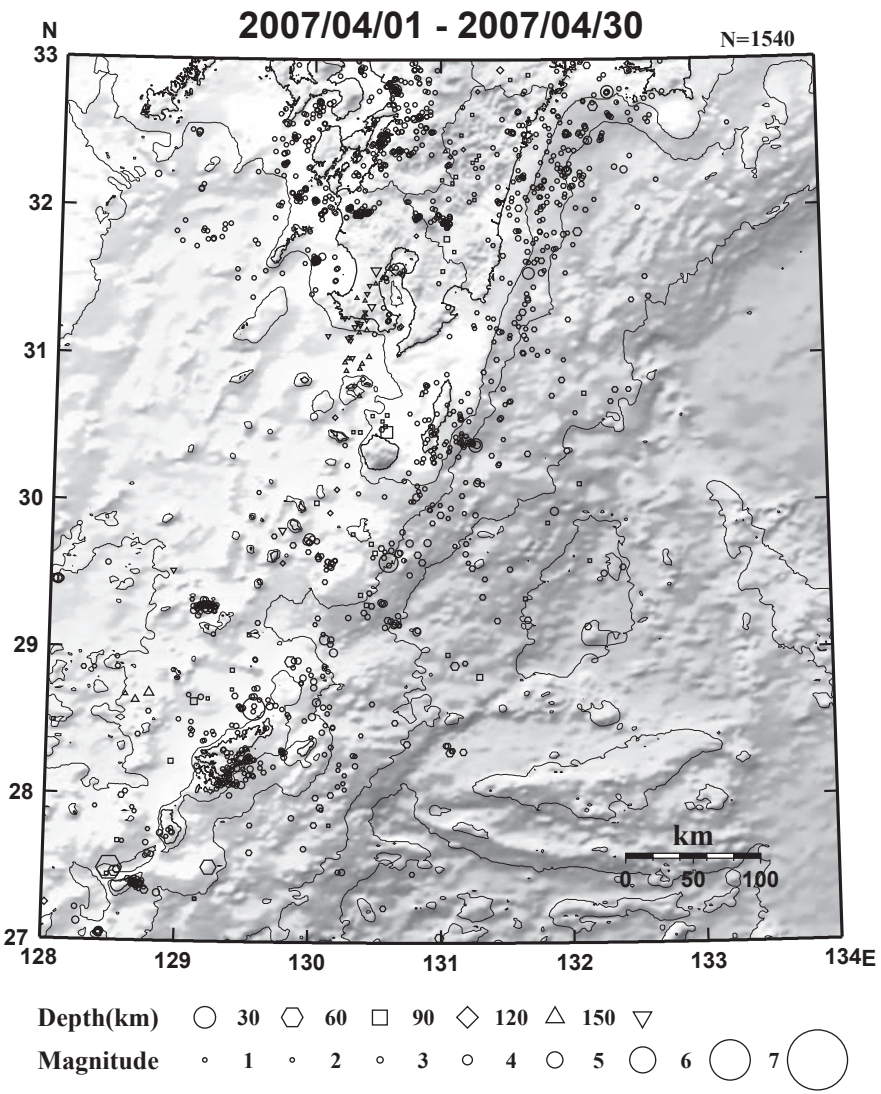
第 3 図　震央分布 (2007 年 1 月)
Fig.3　Epicenter Distribution (January, 2007).



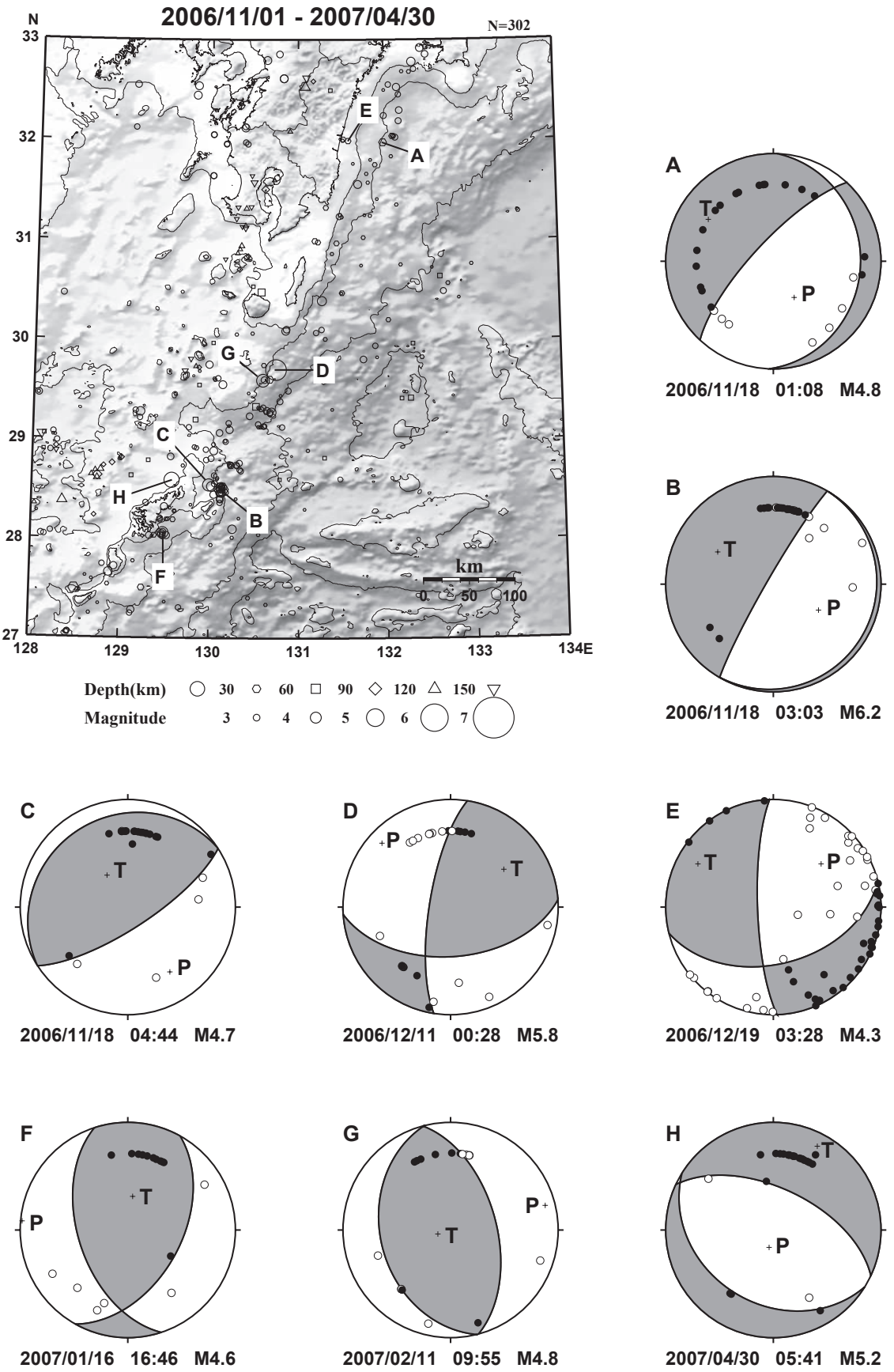
第 4 図　震央分布 (2007 年 2 月)
Fig.4　Epicenter Distribution (February, 2007).



第 5 図　震央分布 (2007 年 3 月)
Fig.5　Epicenter Distribution (March, 2007).



第 6 図　震央分布 (2007 年 4 月)
Fig.6　Epicenter Distribution (April, 2007).



第７図　主な地震のメカニズム解 (2006 年 11 月～ 2007 年 4 月，下半球等積投影)

Fig.7　Focal Mechanism Solutions of Major Earthquakes (November, 2006—April, 2007, Equal Area Projection on the Lower Hemisphere).